

2020 年度農村計画学会誌論文特集号について

農村計画学会

農村計画学会では一年間に、学会誌として3ヶ月ごとに発行する1号から4号と、一定の期日までに募集し、定められた期間内に審査を行った論文・報告を取めた論文特集号の計5冊を冊子体として刊行しています。また、J-STAGE*でもそれらの公開を行っているところです。

論文特集号は査読付き研究成果の発表の場として設けられた秋期大会の開始(1999年)にその起源をもちます。当初は1号から4号に採用される論文・報告と別の目的で立ち上げられましたが、研究成果の掲載の場として定着するとともに1号から4号との差別化の特徴が薄れ、秋期大会の活性化の視点からも対応が求められつつありました。そこで理事会では第17期から3期にわたって学会誌のあり方を検討してきました。この間、1号から4号と論文特集号の体裁やページ数制限、投稿資格の統一や、継続審査(論文特集号に投稿され、審査されたものの、期間内に採否が決定しなかった論文等について、著者の希望を経て1号から4号への掲載を目指した審査への移行)の導入といった改善を行いました。

こうした中、昨今は社会からの要請もあって研究成果の迅速な公開とアクセス(オープンサイエンス化)が常識となりつつあります。そこで、さらなる改善として第19期理事会では査読付き研究成果の電子ジャーナルでの即時公開(2021年4月開始予定)とオンライン投稿システムへの全面移行(2020年10月開始予定)を決定しました。具体的には学会誌38巻4号や第39回総会資料でお知らせしたとおり**です。この決定に伴い、2020年度は移行期間として論文特集号の冊子体としての印刷は行わず、会員にはオンラインで即時公開することとしています。

上記の事情から、今年の論文特集号は皆様のお手元には配送されません。オンラインでの公開場所やアクセス方法については学会ウェブサイトにてご案内するとともに、メールニュースでも配信する予定です。ご理解賜りますようお願い申し上げます。

なおオンライン投稿システムについては39巻3号で、電子ジャーナルの創刊については39巻4号でそれぞれご案内する予定です。

*J-STAGE とは

J-STAGEは国立研究開発法人科学技術振興機構(JST)が運営する電子ジャーナルのプラットフォームで、現在国内の1,500を超える発行機関(学協会や研究機関等)が3,000誌以上のジャーナルや会議録等の刊行物をオンラインで公開している。本学会では発刊後1年を経過したすべての号を公開し、無料で誰でもアクセスできるようにしている。

**訂正

学会誌38巻4号の色頁公告「⑤論文・報告に関する改定について」ならびに第39回総会資料32ページに一部不正確な記述がありました。1(1)で「2020年度論文特集号は、オンラインジャーナルとして発刊します。」とあるのは「2020年度論文特集号は、オンラインにて公開します。」の誤りでした。訂正とともにお詫び申し上げます。